

学校だより



あたらしさ あたたかさ たくましさ

われらの金池

令和7年10月30日

第8号

大分市立金池小学校

文責：校長 安藤 稔

10月25日 秋季大運動会 完全燃焼

心配された雨でしたが、なんとか全競技を終えることができました。この25日に向けて努力し、たくましさを磨いてきた子どもたちでしたので、すべてをやり遂げた完全燃焼の表情がとても印象的でした。

15日に総合練習を行い、その時に出された課題がしっかりと改善され、最高の運動会ができました。フィールド内で競技しているときの応援席の態度、次の競技との入れ替わりの円滑さ、係ごとの連携（例：出発係と放送係等）、最後まで勝負にこだわり一生懸命に取り組む態度など、どれも今までで最高の出来栄でした。

こども園も含めた各学年の表現は、その学年の発達段階＋その学年の特長を生かしたもので、どの表現も感動し誇りに思う素晴らしいものばかりでした。子どもたちの頑張りと成長に、心より拍手を送りたいと思います。

応援団の5、6年生も、最後には一つのチームとなっていました。私も時間のある時は、応援練習を見に行っていました。練習を重ねるごとに、声も大きくなり、一つ一つの動きに「きれい」が増してきました。6年生が上中に出かけた昼休みには、5年生だけで自主的に練習する姿がありました。この応援団の姿は、まさに学校教育目標である「主体的に学び、協働的に高め合う子ども」の姿でありました。約1か月間お疲れさまでした。みなさんの学校生活の中でのリーダーシップも期待しています。

最後に、印象的な言葉を紹介します。全校競技の大玉送りで、1回戦を白組がとり、

2回戦目、白組に大きく差をつけられた赤組でしたが、赤組団長が、「最後まで頑張るよ」とチームを鼓舞していました。これらの姿は、必ず5年生以下に引き継がれることでしょう。それも「金池魂」です。当日は、不安定な天候の中、最後までのご声援、そして28日の片付けのご協力、本当にありがとうございました。



【今こそ求められる「たくましさ」】

運動会を終え、日常の学校生活に戻りました。往々にしてこの時期、運動会への取組で燃え尽きた感じで、日常の学校生活に身が入らない様子も散見されます。そんな時こそ、運動会で身につけ磨いてきた「たくましさ」の出番です。

安きに流されず、自分の考え方、行動を自ら律して、3学期＝新学年0学期の準備を始めることが重要です。「宿題＋読書をする」、「読書冊数をいつもの倍に増やす」、「昼休みは友達と外で遊ぶ」など、自分の目標、学級、学年の目標を振り返り、自身の行動目標を作るとよいですね。

【未来の夢を育むお仕事講話】

11月8日(土)の2校時、4、5、6年生対象に「未来の夢を育むお仕事講話」を実施します。お話しくださるのは、本校の保護者です。様々な職業の話を聞き、将来への思いをはせ、今なすべきことなど学ぶことは、とても心に残るものだと思います。4、5、6年生の12学級に2名ずつの計24名が、講師を引き受けてくださいました。お忙しい中、ありがとうございます。

金池の子どもたちに夢を育む良い時間になると思います。どうぞよろしくお願いいたします。